

第27回 理事会議事録

公益社団法人日本オリエンテーリング協会

## 第27回理事会 議事録

- 1.開催日 2021年2月27日(日) 13:00~17:00
- 2.開催地/方法 事務局及びWEB会議(Zoomを用いての会議)
- 3.理事 19名中17名が出席し、定足数を満たした。(出席者全員WEB参加)  
(出席) 藤井範久 伊藤好信 木村佳司 平島俊次 前田(大里)真理子 楠見耕介  
愛場庸雅 瀬川 出 宮川早穂 新帯 亮 山西哲郎 奥田健史 茅野耕治  
羽鳥和重 信原 靖 谷野文史 島津 弘  
(欠席) 小林 力 高橋利之  
監事 尾上秀雄 齋藤和助(欠席)  
記録 高村 卓
- 4.議長 定款第32条により、愛場副会長を指名した。

### 審議事項

#### 第1号議案 2021年度事業計画案

【説明】愛場副会長：中長期事業方針について変更無し、行動目標について、カテゴリーに分けて整理した。単年度事業方針について、コロナ感染対策について記述した。

今後行動目標を各委員会にどう反映させるかについては検討してゆく。

以上、審議の結果、出席理事全員異議なく承認可決した。

#### 第2号議案 2021年度収支予算案

【説明】事務局：スポーツ振興基金助成について修正があった、コロナ対策についての費用を入れ替えた。全日本委員会については、予算書には入れた。

【意見】大里理事：本予算案は公開する収支であるが、内部的には数値が見える形に変えていく必要がある。寄付金に依存しているところが大きい。

【回答】事務局：会計ソフトも最新版に変わった。

【質問】平島理事：予算書に持続化給付金が入っているか？

【回答】事務局：支払助成金として組み込んでいる。入金はあるが、決済は2020年度になる。

【質問】伊藤理事：デフ協会の会費等について

【回答】事務局：まだ未確定のため入れていない。

【意見】瀬川理事から、予算の見える化を行うための人材を増やしては

【回答】大里理事：事務局人材の問題であり時間をほしい。

【提案】長期財政計画を立案する人材を導入しては。

【提案】2022年度以降、全日本リレー大会の申請はくじ助成にできないか。

以上、審議の結果、出席理事全員異議なく承認可決した。

#### 第3号議案 規程・規則の改定

##### ① 謝金規程の改定

【説明】事務局：規程別表の価格について、税抜きか税込みかの指摘を内閣府から受けたため、規程別表に「税抜き価格」を加える。

以上、審議の結果、出席理事全員異議なく承認可決した。

##### ② 新認定指導者規程の改定

【説明】村越顧問：日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者への移行に関して、指導者規程の改定が必要。現行の指導者資格は大会の運営が主であるが、新制度の資格は競技者育成

が主となる。収入としては減収となる。新制度への移行するため、現行規程の改訂案を提案した。17条の3インストラクタ登録料の修正を行う。

【質問】宮川理事：今後の運用は

【回答】村越顧問：全日本リレーの監督などは資格者が必要、日本代表チームの監督にはコーチ資格は必要。移行講習にはオンライン等も利用し、コーチになることの呼びかけなどを行う。タイムスケジュールは令和3年度からスタートするよう、JSP Oに提出 移行講習は3年度、新資格は4年度からの予定。

【回答】楠見理事：現行資格はなくなるので、コーチ制度へのメリットなどを打ち出して、D2からD1への移行を呼びかける。

【質問】瀬川理事：資格制度が分かれているが、担当理事も分かれるのか

【回答】村越顧問：委員会の改編とあわせ、担当理事も分かれる。資格認定委員会などを策定し担当か。

以上、審議の結果、出席理事全員異議なく承認可決した。

### ③ 競技規則類の改正案

【説明】平島理事：国際競技規則に沿った改正案にした。また、JOA-WEBにも掲載し、意見を求めた。規則類として「公認大会開催に関する規則」と「イベントアドバイザーに関する細則」「日本オリエンテーリング競技規則および関連規則類の運用に関するガイドライン」があり一覧表として提出した。

ガイドライン中に、表彰について、公認大会WGからの提案を踏まえ「公認大会にもJOAがメダルと賞状」と書き加えた。費用については、2021年度予算にはない。

2020年度の全日本は、Eクラスは6位、Aクラス以下は1位のみメダルを渡した。2019年度以前は、Eクラスは6位まで、Aクラス以下3位まで渡した。

WGからの報告はしたが、公認大会において今後どうするか議論ができていない、次回理事会で検討をお願いします。

【意見】：ガイドライン18の撮影機器について、公平性を考え、禁止とするのが良いのでは。機器の発展により、会場で見ることが可能になりつつある。

【意見】羽鳥理事：二日間同じところで行う場合、1日目は禁止しては

以上、審議の結果、出席理事全員異議なく承認可決した。

### 第4号議案 持続化支援給付金の分配方法

【提案】新帯理事：給付金の配賦方法について原案の呈示があった。

【意見】信原、宮川、瀬川、大里の各理事からの意見・提案が出た。（詳細省略）

基本原案に加えて学連に7万円増額し、ブロック毎に合計200万円を分配する。配賦方法等については、5月理事会で最終決議を行う事になった。

以上、審議の結果、出席理事全員異議なく承認可決した。

### 第5号議案 新事業基金引当資産の取り崩しについて

【説明】事務局：現在財務諸表にある「新事業基金引当資産」について、この基金を利用した企画がほとんどなく、基金として残しても有効な手段がないため、基金引当資産から流動資産に取り崩し、普通預金として運用する。

【説明】信原理事：2009年にスキー世界大会を開いた、助成金をもらい寄付金を募った。年度をまたいで資金のため、残が出たがどうするかということで基金にしたのではないか。

【説明】平島理事 新規事業として基金を使った。

基金の目的が明確ではなく、このままにしておいても有効利用が出来ないので取り崩すこと

にした。

以上、審議の結果、出席理事全員異議なく承認可決した。

#### 第6号議案 2021年度全日本大会(ミドル・ロング)事業者発注に関する件

【説明】宮川理事：全日本大会の委託事業者について相見積をとり、各委託先を決定した。2022年度以降は公募をしていく。

選定理由 見積価格が安い業者で選定した。

委託業務 地図データ調査、エントリー業務、ゼッケン印刷、配信業務、競技責任者業務、渉外責任者業務の6業務。

【意見】羽鳥理事：業者委託したときに不満足の場合もある 失敗時の場合は成功時と比べて差をつけてはどうか。

【回答】宮川理事：契約書を作成し、項目に入れ込む。

【質問】奥田理事：印刷ははいていないのか。

【回答】宮川理事：印刷業務は別途である。

【意見】信原理事 内部だけで回しているように見られるのではないか。

以上、審議の結果、出席理事全員異議なく承認可決した。

#### 第7号議案 独立諮問委員会の設立

【説明】大里理事：ガバナンスコードにより、理事選考の透明性を確保するため、独立した諮問委員会を設立する。

以上、審議の結果、出席理事全員異議なく承認可決した。

### 報告事項

○村越顧問から

- 1.Navigation インストラクタ講習会を3回実施した。
- 2.指導者養成講習会を来年度実施、更新講習も行う。
- 3.OMM(オリジナルマウンテンマラソン)の事業委託について報告
  - ・ノマディクス社から受託。額約450万円。
  - ・ノマディクス社に対する2021年からの枠組み：JOA からの業務委託を出すときに契約を結んで発注する。担当は大里副会長
  - ・実務はオーサポートの小泉さんをお願いしている。委託について覚え書きを交わし、業務委託を明確化する。
- 4.デフオリエンテーリング協会の加盟について
  - デフ協会の野中さんと連絡を取った。入会金・会費・JDOA の会員数や実情を問い合わせた。JPC への加盟は、デフ協会単独ではなく、JOA が JPC に加盟する形となる。今後も勧めて行く。
  - ・茅野理事 IOF でも関心を持っている。2025年開催に向けてIOF としてサポートしたい。
  - ・木村理事 デフの方と親和性が高いので進めるべき スポーツ庁の会合にデフでないNF から参加した、他のNF からはなかった。

○平島理事から

- 1.国際交流ガイドラインについて。当初審議事項と提案されたが、報告事項に変更した。大会



第27回理事会

公益社団法人日本オリエンテーリング協会

議事録署名人  
理事会議長

代表理事「副会長」 愛場庸雅

\_\_\_\_\_  
印

議事録署名人 監事 尾上秀雄

\_\_\_\_\_  
印